

□ 道路計画に関する行政と市民の経緯 □

名古屋市		市民等の動向	関連の動き等
都市計画道路決定 事業認可	1957.9. 1993.9. 1998.3.		【1993-生物多様性条約締結・環境基本法制定】 オアシスの森竣工 【1997-環境影響評価法制定】
	2000(H.12)		
道路予定地現地案内会 「地元説明会」(3学区)	3.12 4.8 5.26 7.16 9.22 10 12	「守る会」の発足 名古屋市との座談会「守る会」 自然観察会・探鳥会・歩こう会； 建設中止要望書提出「守る会」 建設推進要望書提出「地元」	【2000-循環型社会元年】 【2000-環境基本計画改定】 *新聞記事(市と住民話し合い平行線) 東海豪雨 9.11~12 *新聞記事(自然保存vs道路建設) 地下鉄6号線延伸計画；野並~徳重
	2001(H.13)		
＜第1回専門家会＞	5.30~6.5 9.17 12.8	ヒメボタル観賞会；「守る会」・他 「フォーラム」；第1回-交通計画・交通問題-	＜天白・もりのフォーラム＞ 9.29 ~みちかな自然を見直そう
	2002(H.14)		
＜第2回専門家会＞	2.3 3.27	「フォーラム」；第2回-自然環境- 「フォーラム」；第3回-まちづくり-	
ヒメボタル調査(5.17・21・24)	5.12 5.22~5.26 6.30	「フォーラム」；第4回-これからのまちづくり ヒメボタル観賞会；「守る会」・他 語ろう会；道路計画を考えよう「守る会」	＜ヒメボタルサミットin愛知＞ 6.16
＜第3回専門家会＞	7.26		
＜第4回専門家会＞	9.13 11.7		*新聞記事(雨水集中CGで再現)
「説明会」	11.15 11.18 11.29	市にオオタカ保護の要請「守る会」 市に説明会に対する抗議文提出「守る会」	*新聞記事(オオタカ保護) 藤前干潟ラムサル登録 *新聞記事(計画2案に住民反発)
＜第5回専門家会＞	12.3 12.12 12.20 12.22	市に説明会に対する抗議文提出「守る会」 市・専門家会に対する抗議文提出「守る会」	地下鉄6号線新規事業に採択 *新聞記事(住民アンケート「不適切」)
	2003(H.15)		
＜専門家会提言書＞ ＜第6回専門家会＞ (施工ワーキング市民募集)	1.12 3.12 5.20・ 5.23~5.25 5.30. 5.31 7.13 10.30.	ヒメボタル観賞会；「守る会」・他 日本各地のホテルのおはなし-小原玲・堀田あけみ-「守る会」 シンボジウム-都市に残された身近な自然-「守る会」 相生山の調査、天白区地域環境審議会に申し立て-区民16人	*中村敦夫参議院議員相生山視察 ＜ヒメボタルサミットin愛知＞ 5.25 *新聞記事(相生山緑地はヒメボタル天国)
	2004(H.16)		
「名古屋市都市計画審議会」 *計画道路の変更について(14名中5人が継続審議-賛成委員9名、原案どおり可決)	1.26 1.30.	都市計画審議会における市側の説明に対する抗議と質問状を市へ提出「守る会」	*新聞記事(計画変更を可決)
	2006(H.18)	10.2-市、県、国にヒメボタルを天然記念物に指定要望書提出「守る会」	
	2008(H.20)		【2008-生物多様性基本法制定】
＜9.26-市長の前でちょっといい対話＞	2009(H.21)	市に要望書・公開質問状等提出「各団体」	*河村市長「科学的検証を」と明言
＜2.1-第1回学術検証委員会＞	2010(H.22)	市に「科学的検証」に対する要望書等提出「各団体」	
「地元」；3学区(山根・相生・野並)区政協力委員長+住みよくする会 「フォーラム」；どうかわる？どうかえる？相生山の自然とくらし 「守る会」；相生山の自然を守る会、「各団体」；相生山の自然を守る会・相生の里山連絡会等			

「第2回相生山緑地の道路建設に係る学術検証委員会」への意見

□ 道路問題が市民に語りかけること

「道路ありき」で進められてきた都市計画道路建設は、市民生活、時代の推移、環境の変化等を科学することを怠って行われてきた。「道路を造ることが仕事」との担当職員の発言が語るように、「環境に配慮した道づくり専門家会」は、道路建設を行うために設置されたものであり、自然・生活環境への影響評価も行っていない。また、生物多様性を論じるにはほど遠く、三日間でのホテル生息調査を基にしたデータをよしとするお粗末さである。ヒメボタルが乱舞するシーズンには1万人以上の市民が相生山緑地を訪れている。相生山緑地をフィールドにした自然観察会等を楽しむ親子。生活に潤いを求める市民の様々な姿は、都市に残された身近な自然がなによりも貴重であることを現している。生きものにも、人間にも大切な相生山緑地である。

この道路問題に関わり、都市に住まう一市民として以下のことが必要であると考える。

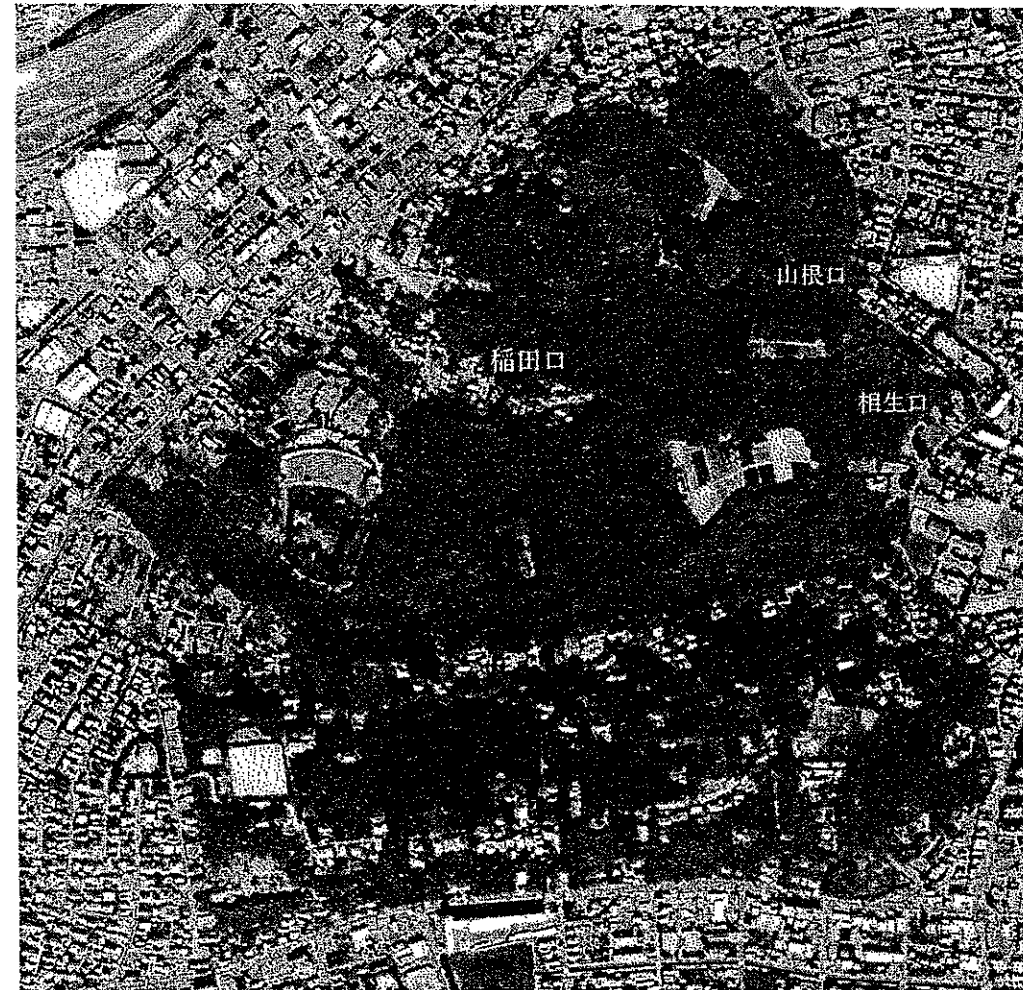
1. 半世紀前の計画を実施するに当たり、計画自体の見直しができる法の整備。
2. 縦割り行政から脱却し、市民が必要とする情報を提供し、市民が判断する「市民の選択権の優先」の確立。
3. 計画の策定段階で市民が関わることのできるシステム・進め方の確立。
4. 地球上の75%の人口が都市に集中する時代における、自然と共生できる環境づくりとその相生山緑地の位置づけ。

「生きものの命を繋ぐ環境」「緑の遺産の喪失から自然の再構築」

相生山緑地



■ 2004年10月(本格的工事着工前)の相生山緑地(約130ha)



□2007年2月 稲田口周辺の工事(相生口方向を見る)

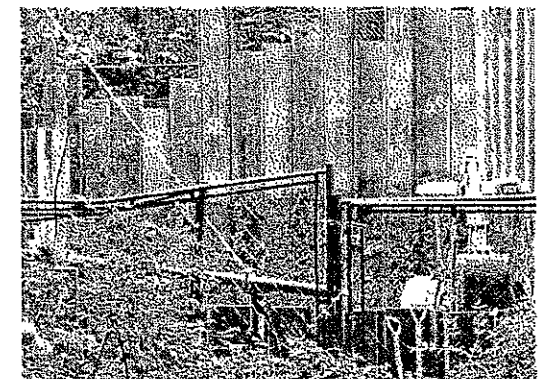


□2009年3月 稲田口周辺の状況(稲田口方向を見る)



幅約20mの空の帯
左手が稲田口にあたり、この沢筋
はヒメボタルが乱舞する場所である。
光が差し込み、風が走り、ここ
一帯に乾燥化が始まっている。

□2009年6月 相生口近くの橋台工事



矢板を打ち込む時の地響きは、
体を揺るがす。振動は、枯れ木
を落とす。タヌキが逃げ出すのも
無理はない。

相生山緑地はここ10年でどのように変わったか

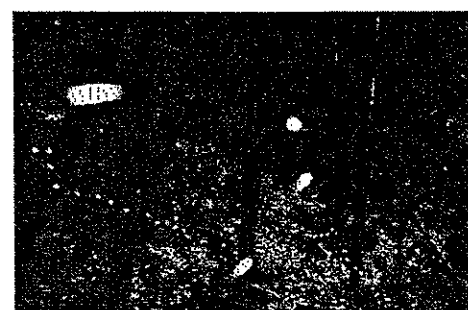
□2007年11月 相生口からの工事着工



◆ 失われた相生口からの散策路



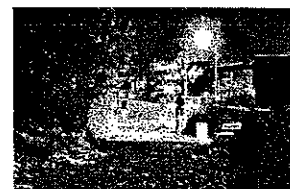
道路予定地内の中高木を約1300本、伐採する
予定であったが、実際何本伐採したかは、未だ
回答がなく分からない。
右のコナラは、相生口から西に向かって150m
ほどの位置にあったが、伐採され、今はその姿
を見ることができない。
この周辺にもヒメボタルが飛び交っていた。



◆ 乱舞するヒメボタル

2007年のヒメボタル鑑賞会(相生山の自然を守る会主
催)での参加者は、20:00~23:00で約1,100人/日、1
シーズン延べ10,000人ぐらい

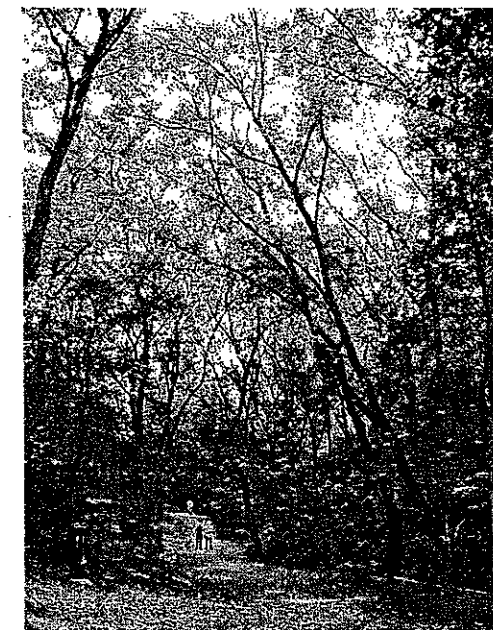
相生口



山根口



◆ 失われようとしている散策路(稲田口近辺)



この散策路の右側の沢筋に乱舞するヒメボ
タルは年々少なくなっている。道路がで
きれば、皆に親しまれていたこの静けさや憩
の空間は一変してしまう。

